



# キュウリ編

## 病害虫注意報 2024年10月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

### 定植前～生育初期の防除

粒剤は一般的に2～3週間効果が持続します。  
アブラムシ類・コナジラミ類・ミナキイロアザミウマはウイルス病を媒介します。  
ウイルスを媒介する害虫を徹底的に防除しましょう！

#### ～定植前センチュウ防除～

- ・育苗・定植時期の気温がセンチュウの生育適温となり密度が高まる。
- ・定植後1か月から急増する。



ネコブセンチュウ

#### ～代表的なウイルス病～



ミナキイロアザミウマ

・黄化えそ病 (MYSV)



アブラムシ類

・キュウリモザイクウイルス (CMV)



コナジラミ類

・黄化病 (BPYV)  
・退緑黄化病 (CCYV)

**センチュウ、ウイルス病は被害が出てしまうと生育中の防除対策はない**  
→定植前の防除が必要

RACコード	薬剤名	使用量	使用時期	使用回数	アザミウマ類	コナジラミ類	アブラムシ類	その他
1B	ネマキック粒剤	15～20kg/10a	定植前	1回	—	—	—	○ ネコブセンチュウ
4A	アクタラ粒剤5	株あたり1g	定植時	1回	—	○	○	○ トマトハダカアザミウマ
28	ベリマークSC	25ml/400株	育苗期後半～定植当日	1回	○ 液量10～20L/400株	○ 液量10～20L/400株	○ 液量2～20L/400株	○ハダカアザミウマ類 液量10～20L/400株

### 定植後 おすすめローテーション

対象害虫によって使用の希釈倍数が異なる場合があります。  
ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	RACコード	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 スカルキー
①	11, M05	べと病・うどんこ病 灰色かび病・炭疽病 等	<b>予・治</b> アミスターオプティフロアブル	1,000倍	前日	4回	※
	4A	アブラムシ類・コナジラミ類 ミナキイロアザミウマ カハネコバエ類	ベストガード水溶剤	1,000～2,000倍	前日	3回	—
②	UN, M03	つる枯病・斑点細菌病 炭疽病・べと病 等	<b>予</b> ジマンダイセン水和剤	600倍 (べと病600～800倍)	前日	3回	30日
	23	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミウマ類・ハダカアザミウマ類	モベントフロアブル	2,000倍	前日	3回	30日
③	2	菌核病・つる枯病 灰色かび病	<b>予</b> ロブラール水和剤	1,000倍 (灰色かび病は1,000～1,500倍)	前日	4回	7日
	30	コナジラミ類・アザミウマ類 ハダカアザミウマ類・ハダカアザミウマ類 等	グレースシア乳剤	2,000倍	前日	2回	100日↑
④	12	褐斑病・菌核病 灰色かび病	<b>予</b> セイビアーフロアブル20	1,000～1,500倍 (褐斑病は1,000倍)	前日	3回	0日
	13	ミナキイロアザミウマ ミナキイロアザミウマ・ハダカアザミウマ類 等	コテツフロアブル	2,000倍	前日	3回	14日

※アミスター20FL単剤は0日

#### 定植3～5日前のおすすめ処方

### ベリマークSC

灌注専用剤

使用薬量：25ml/400株  
対象害虫：アザミウマ類・コナジラミ類  
ハダカアザミウマ類・アブラムシ類  
散布水量：10～20L/400株  
(アブラムシ類は2～20L)



灌注処理に  
プラス！



### ファイトオーツ- 1,000倍

同時灌注で効果アップ

- ▶毛細根の充実
- ▶徒長防止



肥料登録  
生第83241号